

平成 29 年 4 月 19 日（水）に開催した平成 29 年度第 1 回公立大学法人静岡文化芸術大学役員会の結果は次のとおりである。

1 議案

専任教員の採用募集について

ア 趣旨

学長から文明観光学を専攻分野とする教員を採用募集する旨の発議があったため、公募を行う。文明観光学コースは平成 31 年度開講を目指し、その準備の中心的役割を担う者として、職位は、教授又は准教授が想定する。

イ 主な意見・質問

文明観光学コースの内容とその設置の趣旨を説明して頂きたい。（→観光学といっても、一般的な名所をめぐる観光ではなく、文明史的研究を基礎として全体的な視野をもった観光学を考えている。）

ウ 審議結果

審議を踏まえ、議決された。

2 報告事項

(1) 公立大学法人静岡文化芸術大学の理事長及び副理事長の職務代理者について

事務局から、公立大学法人静岡文化芸術大学定款に「理事は、理事長が定めるところにより、理事長及び副理事長に事故があるときはその職務を代理し、理事長及び副理事長が欠員のときはその職務を行う。」とあるが、今回、事故の場合に万全を期すため、予め理事の順序を定めた、という説明があった。

(2) 平成 29 年度入学者選抜結果について

事務局から、平成 29 年度入学者選抜結果として、今年度は、文化政策学科及び芸術文化学科について、前年度の志願倍率が高いと翌年度が低くなるといういわゆる隔年現象の下がり年であったが、想定より微減であったこと、充足率は、116.7%で文部科学省が推奨する 115%を上回ってしまったことが説明された。また、入学者の男女比は、女子学生が 82%を占め、昨年度から 5 ポイント男子が減少したため、今後は男子の志願者を増やす対策が必要という報告があった。

(3) 平成 28 年度就職状況について

事務局から、平成 28 年度就職状況は、文化政策学部が 97.4%、デザイン学部が 97.7%、全体では 97.5%で、前年に比べ 4 ポイントアップとなったという説明があった。業種としては、文化政策学部では、公務員合格者が 18 名（山梨県警含む）、デザイン学部では、トヨタやダイハツ、スズキのデザイン実習試験合格による就職が増加した。

(4) 平成 28 年度静岡県財政援助団体監査結果について

事務局から、平成 28 年度静岡県財政援助団体監査結果として、「注意」による指摘があったことが報告された。当該事案は、受託した業務委託契約について、所定の計画書の提出が遅延したうえ、その計画書を提出する際の決裁がないまま理事長印の押印があったというもので、これについて、今後は、受託契約について、担当者以外にも進捗把握できるよう事務的な計画書を作成する、また、公印の管理を改め、より総務室長及び総務室員の管理が行き届くようにした。

以上により議事を終了した。